



鎮痙・鎮痛剤

500g



日本薬局方 劇 ロートエキス散



Scopolia Extract Powder



製造販売元

日本ゼネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

GS1



(01)14987792110755

製造番号

使用期限



2. 重要な基本的注意
視調節障害、散瞳、羞明、めまい等を起こすことがあるので、視剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。
3. 相互作用
併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
三環系抗うつ剤 フェノチアジン系 薬剤 モノアミン酸化酵 素阻害剤 抗ヒスタミン剤 イソニアジド	抗コリン作用(口渇、 眼の調節障害、心悸 亢進等)が増強する ことがある。	併用により本剤 の作用が増強さ れることがある。

4. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

頻度不明	
眼	散瞳、羞明、霧視、調節障害等
消化器	口渇、悪心・嘔吐、便秘等
泌尿器	排尿障害
精神神経系	頭痛、頭重感、めまい等
循環器	頻脈等
過敏症(注)	過敏症状
その他	顔面紅潮

(注)このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

5. 高齢者への投与
高齢者では抗コリン作用による口渇、排尿困難、便秘等があらわれやすいので、慎重に投与すること。
6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳中の婦人には投与しないことが望ましい。胎児又は新生児に頻脈等を起こすことがある。また、乳汁分泌が抑制されることがある]



鎮痙・鎮痛剤

500g



日本薬局方 劇 ロートエキス散



Scopolia Extract Powder



製造販売元

日本ゼネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

** 2019年 7月改訂(第4版)
* 2017年 8月改訂

日本標準商品分類番号	871245
承認番号	16000AMZ04344000
薬価収載	2008年9月
販売開始	2008年11月
再評価結果	1984年6月

貯法: 気密容器、室温保存
使用期限: 外箱に表示
規制区分: 劇薬

- **【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
- (1)閉塞隅角緑内障の患者[抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある]
 - (2)前立腺肥大による排尿障害のある患者[更に尿を出すにくくることがある]
 - (3)重篤な心疾患のある患者[心拍数を増加させ、症状を悪化させるおそれがある]
 - (4)麻痺性イレウスのある患者[消化管運動を抑制し、症状を悪化させるおそれがある]

**【組成・性状】

販売名	ロートエキス散「JG」
成分・含量 (100g中)	ロートエキス 10g (総アルカロイドとして0.085~0.110%を含有)
添加物	パレイショデンプン
性状	帯褐色～灰黄褐色の粉末で、僅かに弱いにおいがあり、味は僅かに苦い。

- 【効能・効果】
下記疾患における分泌・運動亢進並びに疼痛
胃酸過多、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、痙攣性便秘
- 【用法・用量】
ロートエキスとして、通常成人1日20~90mgを2~3回に分経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

- 【使用上の注意】
- **1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
- (1)前立腺肥大のある患者[尿を出すにくくることがある]
 - (2)うっ血性心不全のある患者[心拍数を増加させ、症状を悪化させるおそれがある]
 - (3)不整脈のある患者[心拍数を増加させ、症状を悪化させるおそれがある]
 - (4)潰瘍性大腸炎のある患者[中毒性巨大結腸を起こすおそれがある]
 - (5)甲状腺機能亢進症のある患者[心拍数を増加させ、症状を悪化させるおそれがある]
 - (6)高温環境にある患者[汗腺分泌を抑制し、体温調節を障害するおそれがある]
 - (7)開放隅角緑内障の患者[抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある]